説明資料

普天間飛行場周辺まちづくり事業（普天間地区）事業説明

令和７年４月

宜野湾市

企画部 プロジェクト推進室

目次

１）普天間飛行場周辺まちづくり事業概要

２）事業の進捗及びスケジュール

３）普天間地区の取組み状況

１）普天間飛行場周辺まちづくり事業概要

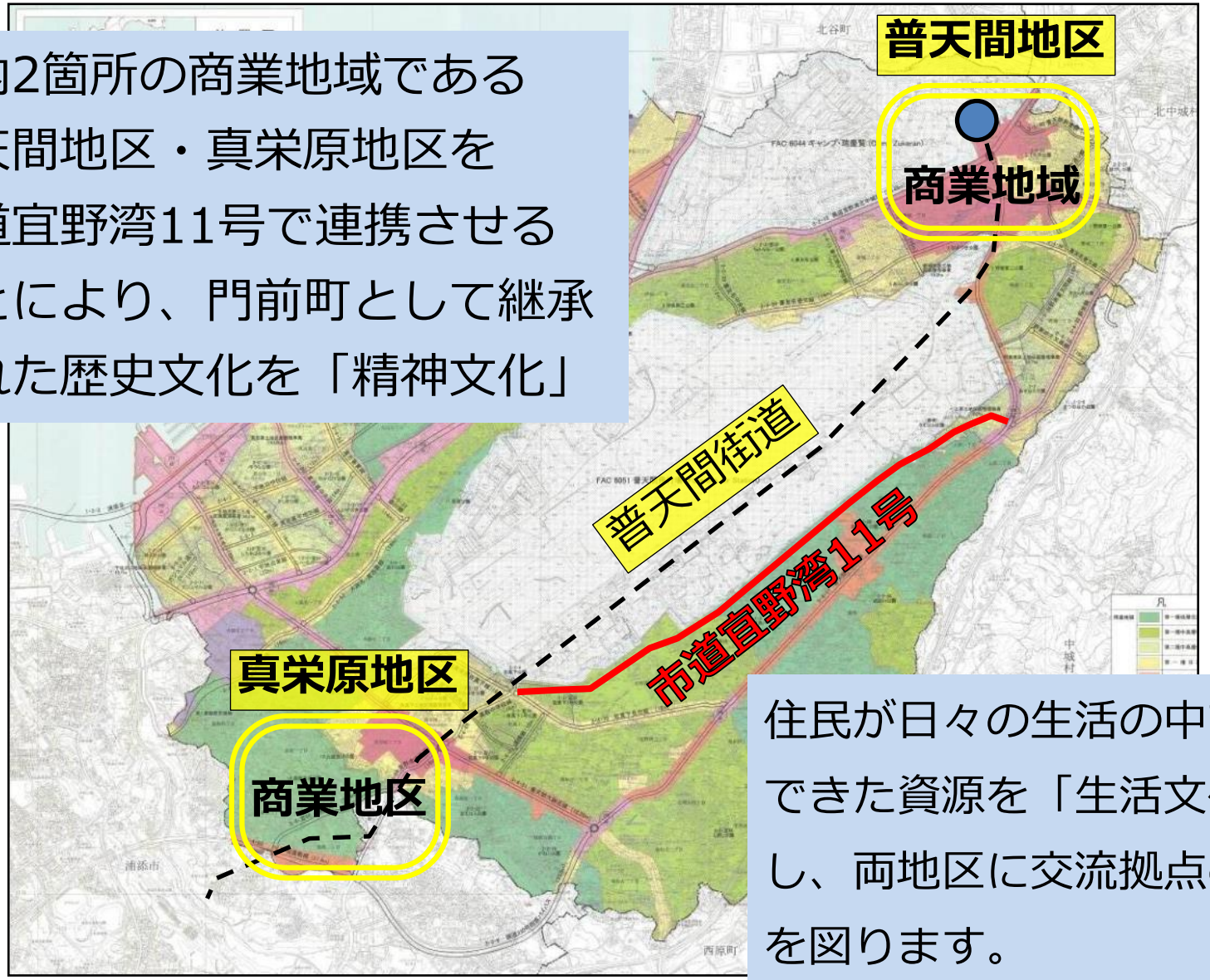
①事業目的および概要

普天間飛行場の立地を前提とし、米軍人・軍属とその家族が基地内外に移住している現状を活かし、各種交流や相互理解、地域活性化に貢献できるまちづくりを構築することを目的としております。

1）普天間飛行場周辺まちづくり事業概要

②事業対象地区

市内2箇所の商業地域である普天間地区・真栄原地区を市道宜野湾11号で連携させることにより、門前町として継承された歴史文化を「精神文化」

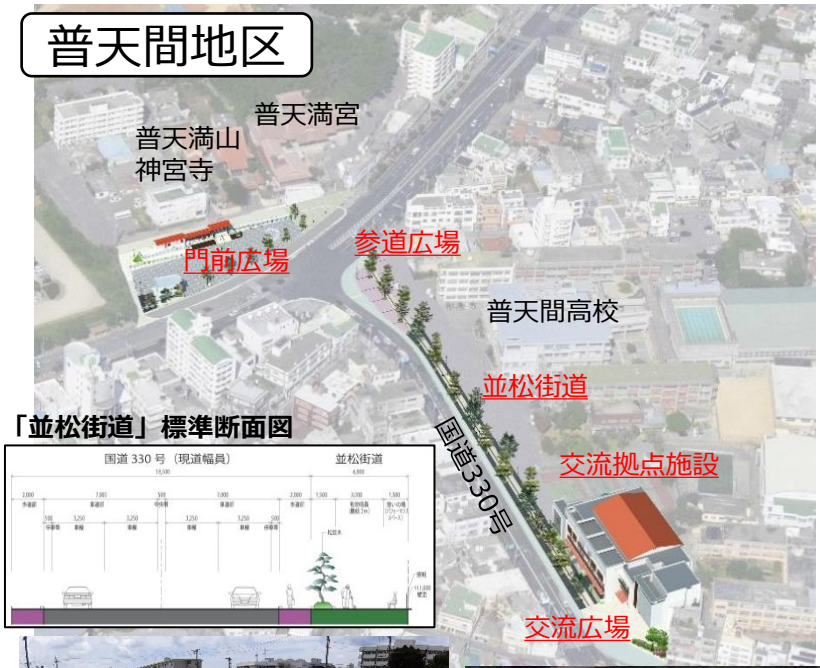


住民が日々の生活の中で育んできた資源を「生活文化」とし、両地区に交流拠点の形成を図ります。

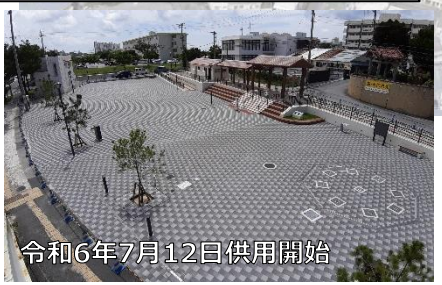
1）普天間飛行場周辺まちづくり事業概要

③各地区の概要

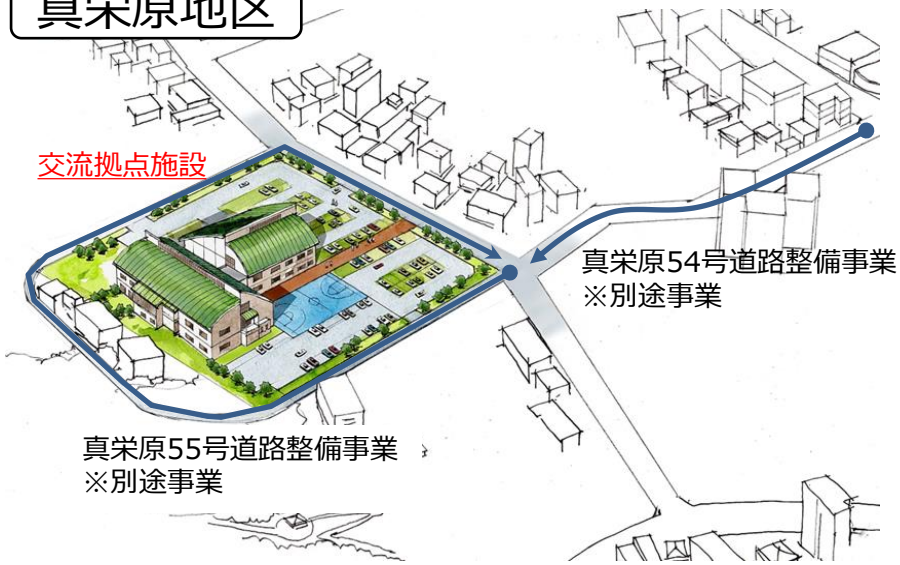
普天間地区



「並松街道」標準断面図



真栄原地区



現時点のイメージ図であり、今後変更となる可能性があります。

④普天間地区のまちづくりコンセプト

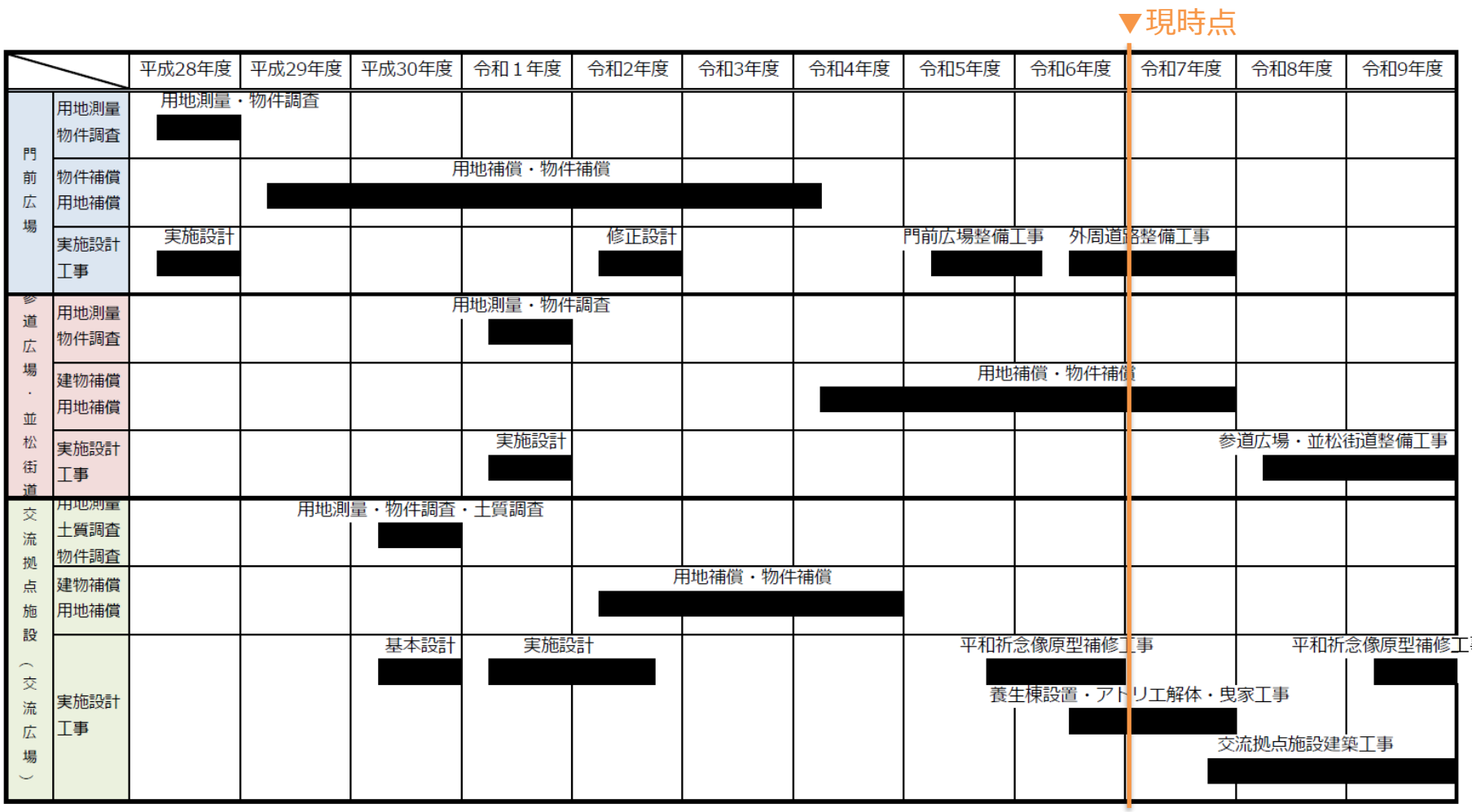
【普天間地区のまちづくりコンセプト】

【まちづくりのコンセプト】

いつ来ても何かがある、いつも来たくなるまち
普天間門前“交流”舞台
～世界中で普天間だけの舞台づくり～

①「普天満参詣」や「普天間街道・宜野湾並松」、「普天間女神」、「普天間仙人」を身近に感じることのできる普天間固有のシンボル性を持った場所づくり
②いつも、誰かが活動していて、それを楽しみに集まる人たちがいるまちづくり
③日本中、世界中の子供たちが門前町でお互いに学習し合う環境づくり
④住んでいる人にも訪れる人にも便利で魅力ある商業地づくり・現代の市場づくり
⑤歩いて楽しい、新しい発見のあるまちづくり・みちづくり
⑥普天間門前の魅力を高める「もてなし」と「結」のあるひとづくり

2）事業の進捗及びスケジュール



現時点のスケジュールであり、今後変更となる可能性があります。

3）普天間地区の取組み状況

①門前広場（令和6年6月整備完了）

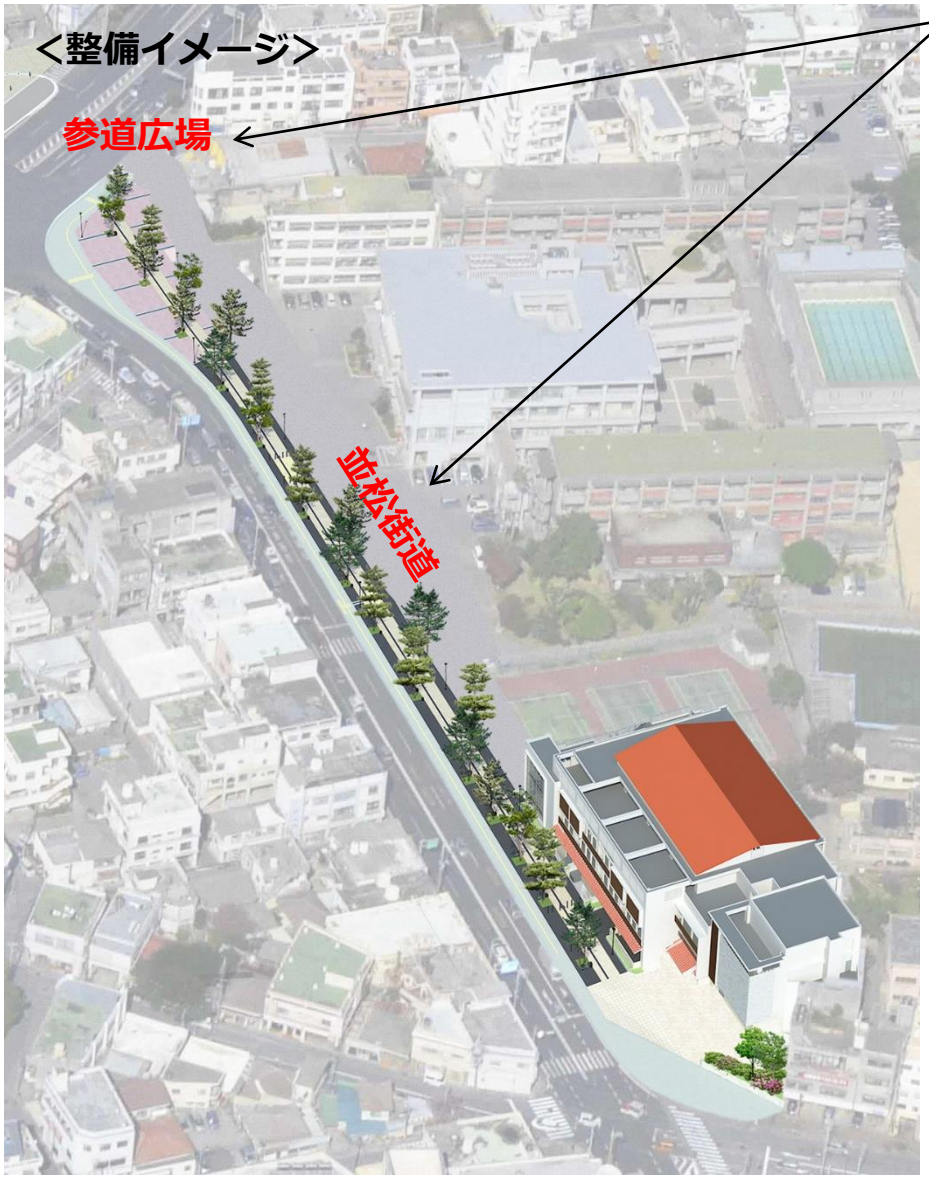
【整備面積】
整備面積　2,083.4㎡

【主な施設・整備】
トイレ棟
男子・女子・多目的・機械室
東屋　2基
噴水　1基
9時～21時稼働
15分毎に5分間の演出
夜間はライトアップ
その他
ベンチ5基　水飲み場1基
琉球松7本　外灯7基
庭園灯9基　水栓2基
グリストラップ2基
コンセント盤2基

使用例（すずらん通り会主催イベント（福果））

3）普天間地区の取組み状況

②参道広場・並松街道



■参道広場・並松街道（松並木遊歩道）

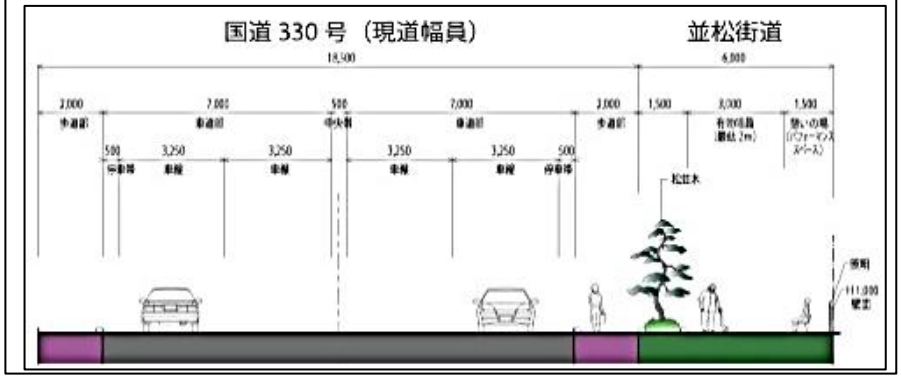
○施設の活用イメージ

- 「普天満参詣」開催時の随行行列の場所。
- 日常は、地域の人達が気楽にユンタクする場所。
  （松並木の木陰で休息できる場所）
- ウォーキング・ランニングが安全にできる場所。
- お祭りの時などには屋台等が並ぶ場所。
  （歴史文化を通じた米軍等との交流の場所）

○施設の整備イメージ

- 両側の松並木の中央部に「普天満御参詣」の随行行列の通行が可能な歩行者用道路を配置する。
- 普天間松並の歴史性を感じる舗装とする。
  （赤土・石灰岩の舗装イメージ等）
- 松並木の間にはベンチや普天間の歴史等を紹介する案内板等を配置する。また、フリーマーケットのブースや屋台の設置等が可能なようにする。

＜並松街道の断面図＞



現時点のイメージ図であり、今後変更となる可能性があります。

3）普天間地区の取組み状況

③沖縄平和祈念像「原型」

沖縄平和祈念像「原型」（宜野湾市）
（令和6年度補修工事完了後の状況）

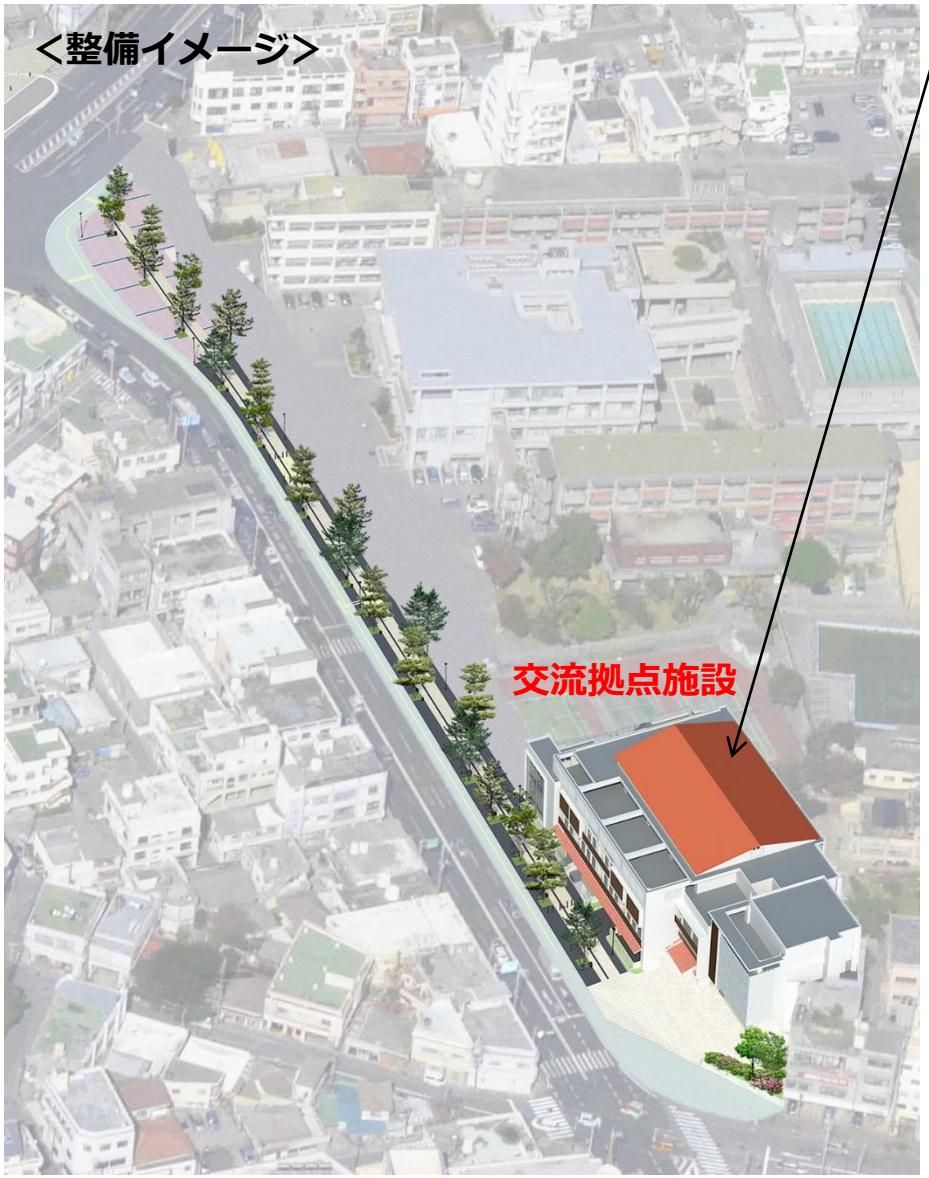
平和祈念像「原型」は宜野湾市普天間に在住していた偉大な芸術家(故)山田真山画伯によって自身の戦争経験から世界平和の祈りを込め、18年の歳月をかけ制作された。
しかし、昭和50年の完成から約50年が経過し、原型はひび割れや剥落があり、劣化が進んでいるため、令和６年度、補修工事を行った。

補修した平和祈念像「原型」は、交流拠点施設に展示・公開することにより、普天間から平和を願い、世界平和を発信できるような活用をイメージ。

沖縄平和祈念像（糸満市摩文仁）

3）普天間地区の取組み状況

④普天間交流拠点



■交流拠点施設

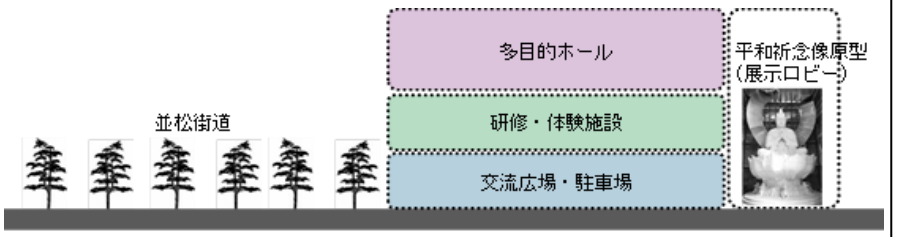
○施設の活用イメージ

・「普天間留学」に対応した学習・体験・交流・娯楽および鑑賞の場所。
・300人以上が集まったコンサート・イベント等から、数人単位の体験教室まで多種多様な活動ができる場所。
・日常は、地域住民や市民および米軍・米軍婦人会などが各種講座やサークル活動等を楽しめる場所。
・観光客や米軍子女・国内外からの「留学生」が英語文化と沖縄の伝統芸能・文化を体験できる場所。
・平和祈念像原型に見守られて、国際平和を実現する交流の拠点をアピールする場所。

○施設の整備イメージ

・300名以上の利用を想定した多目的ホールと、多様な研修・体験室により構成する。
・平和祈念像原型をだれでも見ることができ、施設全体のシンボルとなるよう配置する。
・駐車台数を34台確保し、雨天時にはイベント利用に活用できる計画とする。

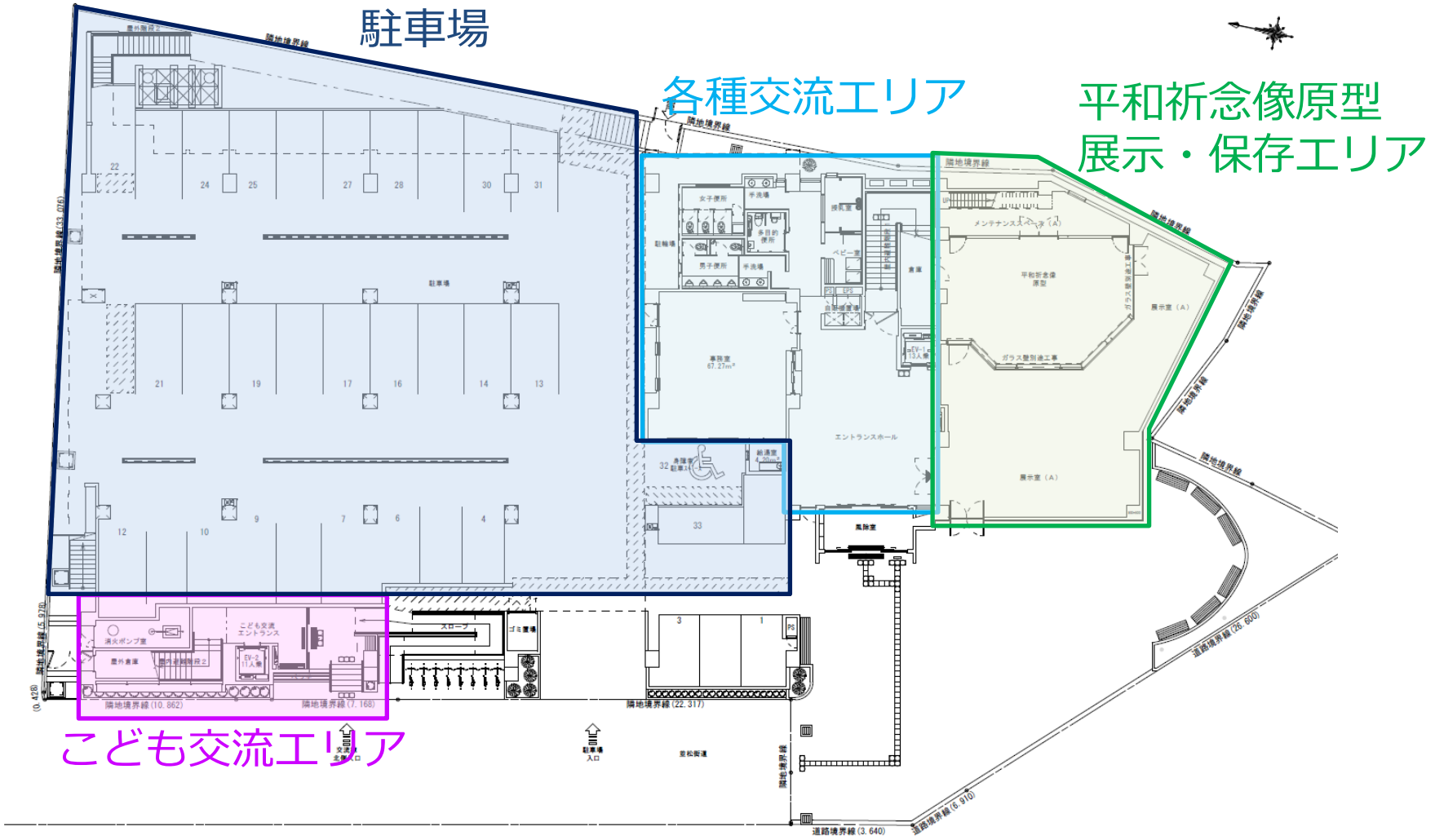
<交流拠点施設の配置イメージ>



現時点のイメージ図であり、今後変更となる可能性があります。

3）普天間地区の取組み状況

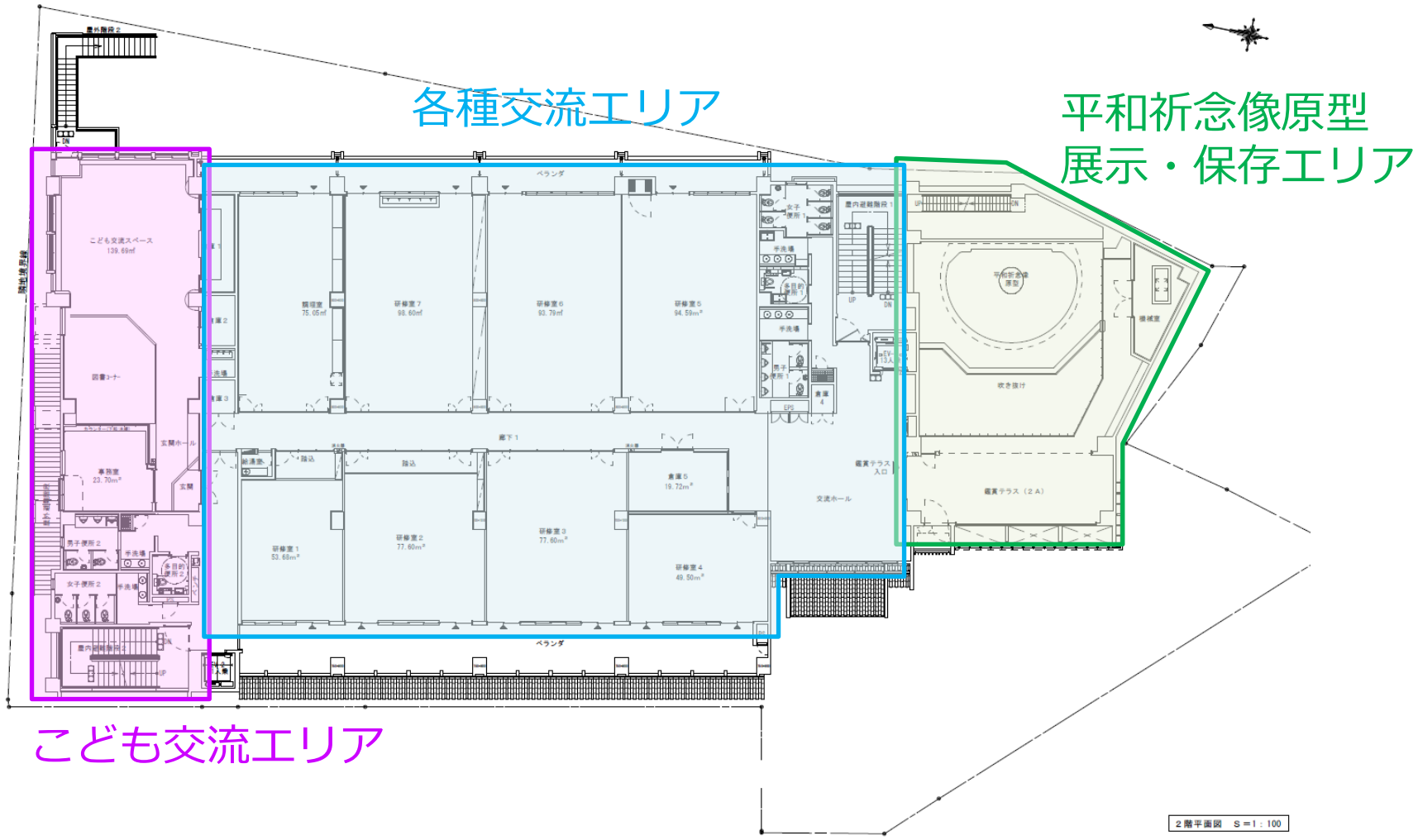
⑤交流拠点施設施設整備イメージ（1階）



現時点のイメージ図であり、今後変更となる可能性があります。

3）普天間地区の取組み状況

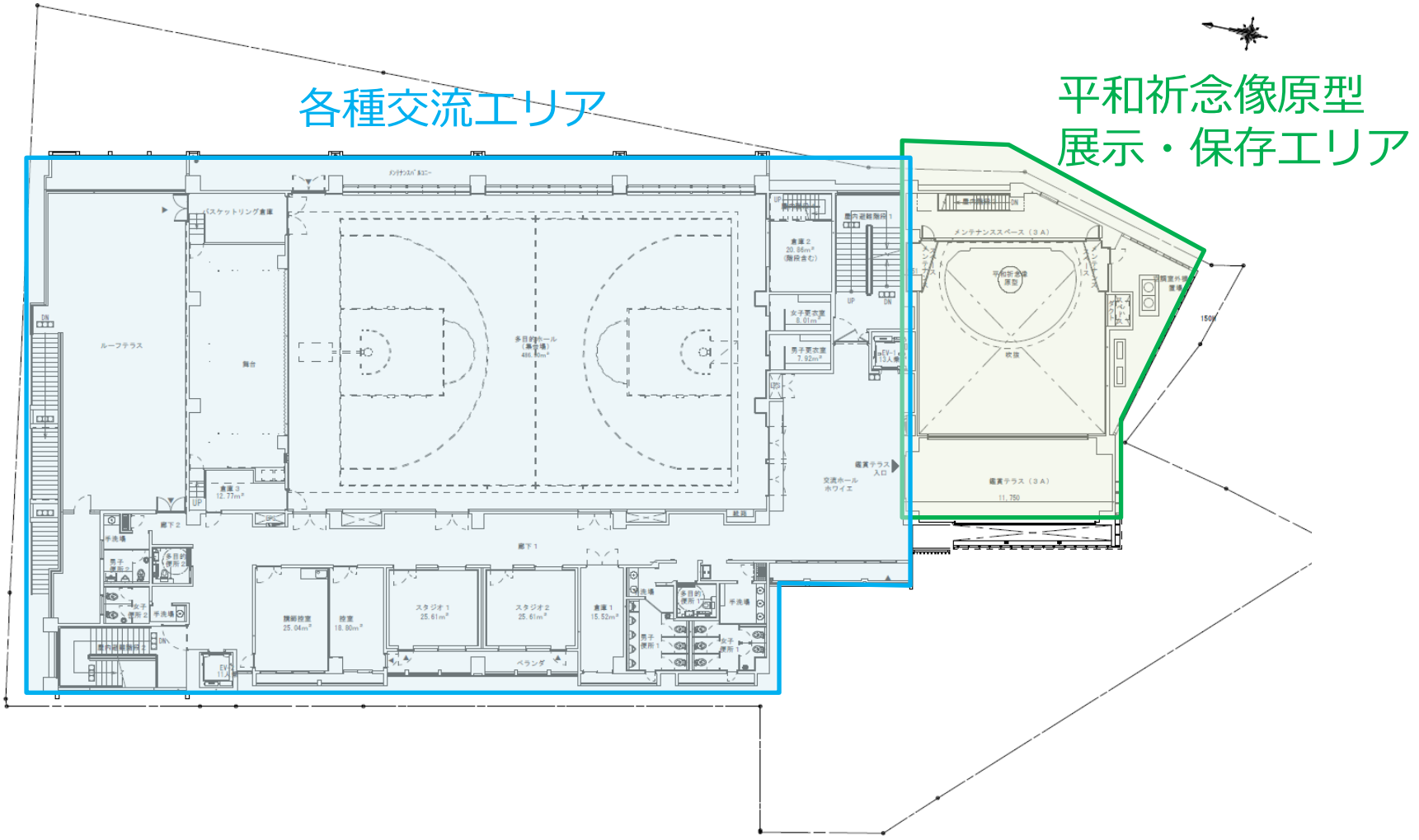
⑤交流拠点施設施設整備イメージ（2階）



現時点のイメージ図であり、今後変更となる可能性があります。

3）普天間地区の取組み状況

⑤交流拠点施設施設整備イメージ（3階）



現時点の配置であり、今後変更となる可能性があります。

3）普天間地区の取組み状況

⑥普天間交差点（三叉路）横断歩道橋

地元よりご要望のあったバリアフリー化や普天間飛行場周辺まちづくり事業との調和が図れるような改修について国道事務所と調整中。

本日お越しいただいた皆様へ

普天間飛行場周辺まちづくり事業の趣旨にご理解いただき、本事業の早期完了に向けご協力をよろしくお願いいたします。